連携機関・施設のご紹介

竹田市地域包括支援センター

竹田市地域包括支援センターは、竹田市社会福祉協議会が竹田市から委託を受けて平成１８年から運営しています。地域の皆様のおかげで、今年１６年目を迎えました。開設当初名称が馴染みにくく、平成２８年に通称名を「つるかめ」としました。竹田市に住む高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して、活き活きと健康的に過ごせるよう、ワンストップ相談窓口、ネットワーク構築、権利擁護、介護支援専門員支援、地域の介護予防活動の強化、認知症支援、介護予防ケアマネジメント等の業務に取り組んでいます。センターには、配置が必須な３職種（保健師・社会福祉士・主任ケアマネ）に加え、リハビリ等の専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・栄養士）がおり、それぞれの専門性を活かしながらチームで協力して活動しています。今後も地域包括ケアの中核機関として関係機関の方々や地域の皆様と連携しながら、高齢者の命を守り輝かせるよう業務を推進してまいります。

当院からのメッセージ

当院では、高齢の患者様が多く、受診された際に、医療面の困り事以外にも生活面での困り事を抱えた方が多くいらっしゃいます。そのような時に、竹田市地域包括支援センターを紹介させて頂いています。快く相談対応していただけると共に、患者様にとって、より良いサービス、生活環境を提案して頂ける安心感があり、医療機関の連携先として心強い存在です。今後も、地域の高齢者の皆様が安心して生活できるよう、共に連携していきたいと思います。

【加藤病院　地域医療連携部】

医療法人　雄仁会　加藤病院
〒878-0013
大分県竹田市竹田１８５５番地
☎０９７４－６３－２３３８

社会福祉法人　雄仁会
〒878-0026
大分県竹田市大字飛田川1618-23
☎０９７４－６３－３３２３

ホームページ http://yuujinkai.com/

編集後記

新型コロナウイルスの世界的流行を認めてから1年以上たち、新しい生活様式を余儀なくされ、コロナ疲れを感じるようになりました。
徐々に経済活動も戻りつつありますが、まだ予断を許さない状態です。
皆様も体調管理に気をつけ乗り切りましょう。

医療法人
社会福祉法人 雄仁会

令和3年7月
17号

広報誌 ゆうじんかい

基本理念　安全 ● 信頼 ● 満足

TOPICS

理事長挨拶

理事長　加藤一郎

世界中で新型コロナウィルス感染症が猛威をふるい、みなさまも不安な毎日をお過ごしのことと思います。私ども雄仁会（スタッフ数約370人）では加藤病院、岡の苑、和の郷、こころの郷、木もれ陽の外来、入院、入所、通院、通所を安心して利用していただくように、感染防止対策を実施しています。ワクチン接種が徐々にすすみ、コロナ感染症が終息するよう願うばかりです。

こういう状況のなか、希望を持てるニュースが入りました。アメリカで認知症の薬が認可されたということです。薬の名前は「アデュカヌマブ」と舌をかみそうですが、大きく期待されているようです。日本ではエーザイという製薬会社が厚生労働省に認可申請をしているそうです。現在アルツハイマー型認知症でよく処方されるのはアリセプトとうい薬が有名です。これは認知症の進行を遅らせる効果があります。新しい薬アデュカヌマブは脳に沈着したアミロイドベータという物質を除去して、認知症の進行を止める効果があるそうです。日本での認可はまだ不透明ですが期待したいと思います。

わたしたち雄仁会は10年以上前から、認知症の治療には薬だけではなく、地域のサポート、人の力が必要と信じてがんばっています。ご存知のように認知症といっても症状はひとりひとり違います。患者さん、ご家族の立場になって納得できる提案をして、この地域で安心して生活できる最適な環境を提供することが大切と考えています。その要望にお応えできるように、病院の新築、施設の新設、専門医師の増員、医療介護等スタッフの確保そして常に資質向上をはかっています。

竹田市、豊後大野市の少子高齢化は深刻ですが、この新型コロナ禍で生活様式、価値観の大きな変化が起こっています。これをよい機会ととらえて、安心してこの地域で住み続けることができる街づくりをしましょう。

加藤病院は本年７０周年を迎えます

医療法人雄仁会加藤病院は、戦後間もない昭和２６年９月５日、先代の加藤一雄院長が２０床の精神科病院として現在地に開業して本年をもって７０年となります。その後、昭和６３年に現院長が院長に就任し、１５０床の精神科単科の病院。平成５年に精神科病院のイメージを払拭するため新館建設を開始。平成６年２月、認知症疾患療養病棟４０床増設。平成８年６月、老人保健施設「岡の苑」開設。平成１１年６月、精神科デイケア開始。平成１８年１月、日本医療機能評価機構よりVer４認定（平成２３年Ver６更新認定）。平成１８年８月共同住宅「しらゆりの里」開設。平成２０年４月、認知症対応型共同生活介護・通所介護施設「和の郷」開設。平成２２年６月には病院の大改築を実施しています。平成２４年２月には、社会福祉法人雄仁会・地域密着型特別養護老人ホーム「こころの郷」を開設し、豊肥医療圏域における精神科、とりわけ認知症及びうつ病の専門医療機関として、地域ニーズに応えられる法人を目指して取り組みを推進しています。

部門長紹介

竹田市出身。
１４年間勤務しています。患者様が、病棟や地域生活において「その人らしく、より良い生活」が送れるよう努めてまいります。

社会復帰支援部長
大津光宏

直入町出身
入職２３年目です。皆様が心身ともに健康に地域で過ごせるようにお手伝いをさせていただきたいと思います

重度認知症
デイケア部長
（木もれ陽オレンジ）
大塚央士

豊後大野市出身です。皆様が住み慣れた環境の中でできる限り在宅生活が過ごせます様、お役に立てれば幸いです。

重度認知症
デイケア看護部長
（岡の苑オレンジ）
阿南宏美

臼杵市野津町出身。
２０１４年入職。
趣味は、ゴルフ、ウォーキング。１日1万歩を目指しています。

加藤病院事務部参与
柳井幸弘

竹田市出身。
本年４月から病院事務部長を務めています。前職は竹田市役所で経験のない分野ですが、日々研鑽です。よろしくお願いいたします。

加藤病院事務部長
池永　徹

緒方町出身。
４月より看護部長に就任しました。入職して３０年になります。基本方針の「安全・信頼・満足」をモットーに看護に努めていきます。

看護部長
麻生俊二

清川出身です。
入職して３９年目を迎えました。老いと向き合いながら、認知症に関する普及・啓発活動に取り組んで行きます。

大分県認知症疾患
医療センター
事務局長
岑　　浩

大分市出身。
結婚し、竹田市で暮らしています。
地域の精神科病院として安心して相談していただける窓口を目指しています。

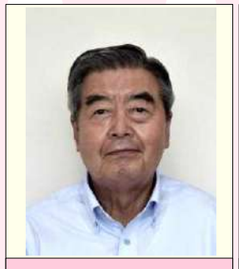
地域医療連携部長
吉田真由美

大分市出身。
安心して画像検査を受けていただけるように、最新のＣＴを設置し管理しています。放射線のことが心配なかたは、いつでもお声がけください。

診療技術部長
小野次郎

竹田市出身。
栄養管理部をまとめる役を担っています。円滑に仕事に集中出来るように気を配って日々を重ねています。栄養面での相談もどうぞ。

栄養管理部長
藤澤初子



竹田市出身。
平成１７年入職、娘２人、息子１人、孫３人。勤務と、週末の農作業での田舎暮らしを楽しませてもらっています。

岡の苑事務部参与
安倍一彦

竹田市荻町出身。
市役所定年退職後、雄仁会入社３年目。
趣味は登山と写真。
モットーは誠実と地域貢献。ご利用者のサービス向上に努めます。

岡の苑事務長
後藤俊治

生まれも育ちも市内宮砥地区、居住は松本地区です。本年で６１歳、昨年の９月から施設長をしています。よろしくお願いいたします。

木もれ陽施設長
相馬隆英

阿蘇市出身。
施設長歴５年。
モットー、スタッフの優しいケアを３６５日季節の花で表現する。

こころの郷施設長
佐藤サツ子

直入町出身。
社会福祉法人雄仁会の運営全般の事務を担当。法人の行う事業がスムーズにできるよう法人の適正な運営に努めます。

社会福祉法人
雄仁会事務局長
佐藤英俊